

2025（令和7）年度前期  
教学改善のための授業評価アンケート  
報告書

大阪成蹊短期大学

調査概要

授業評価アンケート結果

集計データ

調査票

# 調査概要

## 1) 調査目的

個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学修成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。

## 2) 調査項目

### <一般科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学科・コース、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(15問)
- ・「教育環境」に関する項目(2問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

### <ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学科・コース)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

## 3) 調査対象

本学の2025(R7)年度前期開講の全授業(※ピアノ科目以外の10名未満のクラス、および、13週目までに終了するクラスについては、担当教員の任意で実施)、およびこれらの授業を履修している全学生

## 4) 調査方法

2025(R7)年度前期より、従来の質問紙(マークシート)は廃止し、WEBアンケートシステムに1本化して調査を実施した。基本的な実施手順は、下記の通り。

- ①各授業の終了前15分程度を使用する。
- ②Google Classroomを通じてアンケートの回答URLを学生に伝える。または、回答URLの二次元コードをプロジェクターに投映するなどして学生にスマートフォンで読み取ってもらう。
- ③回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。

## 5) 調査期間

2025(R7)年7月2日(水)～2025(R7)年7月22日(火)(※原則、授業の13週目に実施)  
(2回生幼児教育学科は、2025(R7)年7月9日(水)～2025(R7)年7月28日(月))

## 6) 調査主体

大阪成蹊短期大学

## 7) 調査実施率、有効回答率のまとめ

### ◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	生活デザイン学科	31科目	31科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース/FCコース	1科目	1科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース/製菓コース/FCコース	1科目	1科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース	23科目	23科目	100.0%
	調理・製菓学科 製菓コース	18科目	18科目	100.0%
	調理・製菓学科 FCコース	6科目	6科目	100.0%
	栄養学科	19科目	19科目	100.0%
	幼児教育学科	124科目	124科目	100.0%
	観光学科	8科目	8科目	100.0%
	グローバルコミュニケーション学科	6科目	6科目	100.0%
	経営会計学科	34科目	34科目	100.0%
	共通科目	28科目	28科目	100.0%
	司書課程科目	7科目	7科目	100.0%
2025(R7)前期 計		306科目	306科目	100.0%

### ◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属 学科 等	生活デザイン学科	1,100名	755名	68.6%
	調理・製菓学科 調理コース	892名	763名	85.5%
	調理・製菓学科 製菓コース	653名	563名	86.2%
	調理・製菓学科 FCコース	104名	96名	92.3%
	栄養学科	871名	697名	80.0%
	幼児教育学科	2,941名	2,623名	89.2%
	観光学科	250名	209名	83.6%
	グローバルコミュニケーション学科	42名	32名	76.2%
	経営会計学科	960名	796名	82.9%
	(所属学科等不明、その他、端数調整)	33名	15名	
2025(R7)前期 計		7,846名	6,549名	83.5%

※「延べ履修者数」は、学生1名が複数の調査対象科目に履修登録している場合、履修科目ごとに1名としてカウントした。

※「延べ有効回答者数」は、学生1名が調査期間中に複数の調査対象科目に出席し、且つ、アンケートに回答した場合、回答した科目ごとに1名としてカウントした。ただし、調査項目に1問も回答がない(回答者の基本属性を含む。自由記述は除く)ケースについては、無効回答として集計対象から除外した。

## 8) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業実施報告書を作成した。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

## 授業評価アンケート結果（一般科目）

### ◆経年比較

※履修者数10名未満の科目は除いている。

※昨年度までは30問中「1」または「5」の解答が29以上のケースは除いていたが今年度は抜いていない。除いた場合でも値はほぼ変わらない。

※今年度は一部アンケートの質問文を変更している。変更点は報告書の最後に記載した。とくに I-5は選択肢を含めて大きく変更したため、比較の際は注意が必要である。

	2024年度前期		2024年度後期		2025年度前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
<b>I. 授業への学生の取り組み</b>						
I-1. この授業への出席(参加)状況	4.11	1.11	3.85	1.20	4.16	1.09
I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.18	1.04	4.14	1.02	4.41	0.75
I-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	1.45	0.86	1.55	0.95	1.74	1.11
I-4. この授業の自分にとっての難易度	3.45	0.77	3.42	0.75	3.60	0.73
I-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.55	1.20	2.50	1.22	3.91	1.07
<b>II-①. 授業内容と授業の進め方</b>						
II-①-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.27	0.94	4.23	0.93	4.28	0.92
II-①-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.28	0.92	4.24	0.92	4.27	0.93
II-①-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.30	0.91	4.26	0.92	4.30	0.90
II-①-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.30	0.90	4.27	0.90	4.29	0.90
II-①-5. 教員は学生の授業参加(交流、ワーク、発表など)を促していた。	4.34	0.87	4.30	0.88	4.29	0.93
II-①-6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.33	0.86	4.30	0.87	4.33	0.89
II-①-7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.36	0.84	4.33	0.84	4.35	0.86
II-①-8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	4.31	0.88	4.27	0.89	4.30	0.90
II-①-9-1. (講義・演習科目の場合)板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。	4.33	0.87	4.28	0.88	4.30	0.90
II-①-9-2. (実技・実験・実習科目の場合)教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。						
II-①-10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.41	0.81	4.34	0.84	4.42	0.82
II-①-11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.45	0.78	4.37	0.80	4.45	0.81
II-①-12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.38	0.82	4.31	0.86	4.38	0.85
II-①-13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	4.36	0.84	4.29	0.87	4.35	0.87
II-①-14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	4.34	0.86	4.29	0.87	4.34	0.88

(該当者のみ回答) II-①-15. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.30	0.92	4.30	0.89	3.95	1.10
<b>II-②. 教育環境</b>						
(該当者のみ回答) II-②-1. 対面授業では適切なICT環境(Wi-Fi、PCなど)が整っていた。	4.42	0.83	4.33	0.85	4.39	0.86
(該当者のみ回答) II-②-2. 対面授業では適切な教室設備(空調、プロジェクター、机の配置など)が整っていた。	4.41	0.84	4.33	0.85	4.33	0.93
<b>III. 授業を通して得られたこと</b>						
III-1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.38	0.80	4.33	0.82	4.37	0.80
III-2. 学習力や思考力が高まった。	4.33	0.82	4.31	0.83	4.31	0.84
III-3. 知的好奇心や探究心が高まった。	4.30	0.86	4.29	0.85	4.29	0.88
III-4. 考え方や社会的視野が広がった。	4.31	0.85	4.29	0.84	4.31	0.86
III-5. コミュニケーションする力(他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力)が高まった。	4.22	0.93	4.23	0.90	4.23	0.92
III-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.20	0.89	4.24	0.86	4.19	0.89
III-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.41	0.79	4.34	0.81	4.42	0.80
III-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.38	0.83	4.32	0.85	4.37	0.85

2025年度前期を2024年度前期・2024年度後期と比較すると、教員が授業内容を充実させ、学生の意欲向上もあがり、シラバスの活用により授業の見通しが立ち、授業に熱心に取り組む学生が増えたのではないかと見受けられる。

「授業への学生の取り組み」の「I-①この授業への出席(参加)状況」について、2024年度後期より0.31増加している。この項目に関して例年、前年度の後期と今年度前期を比較すると、前期は新年度になるので平均値が上がりやすいのではないかと見受けられる。

「I-2この授業に熱心に受講し、主体的に取り組んだ」においては、平均値が4.14から4.41へ上昇した。また、「I-5 この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。」は、平均値が2.50から3.91へと増加した。これは、前回のアンケートより質問文が変更されていることもあり(具体的な活用方法を記載)、学生のシラバス活用のポイントが明確になったことが要因として考えられる。

教員の「授業内容と授業の進め方」について学生から高く評価されており、また、学生が「授業を通して得られたこと」についての評価も高い水準を維持している。教員が授業内容を充実させていること、また、学生もその授業内容を満足できるものとして受け止めていることが窺える。

該当者のみ回答の「II-①-15. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom, Meet, Zoomなど)を適切に活用していた」が、前回より平均値が0.35減少しているため、改善の余地があるのではないかと見受けられる。

### ◆条件ごとの「授業運営」尺度・「学修達成」尺度の得点の違い

アンケート項目のうちⅡ-①-1からⅡ-①-14までの平均を「授業運営」尺度とする。これは、教員の授業に対する工夫や熱意などを示す指標である。また、Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。これは、学生が専門知識や思考力、コミュニケーション能力などを身につけたかどうかを示す指標である。

#### 所属学科別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
生活デザイン	4.13	0.82	702	4.08	0.81	739
調理・製菓	4.39	0.75	1313	4.39	0.70	1365
栄養	4.33	0.78	663	4.25	0.82	689
幼児教育	4.36	0.78	2267	4.36	0.76	2395
観光	4.34	0.69	202	4.39	0.68	203
GC	3.89	0.48	5	4.06	0.64	6
経営会計	4.41	0.71	737	4.30	0.70	783
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

いずれの学科においても「授業運営」の評価と「学修達成」の評価は概ね高い水準にあり、よく似た傾向を示している。一番高いのは「調理・製菓」であり、「生活デザイン」が低い。どの学科も平均値が4以上あり、おおむね高い水準にある。教員の授業設計や指導方法が学修成果に結びついていることが示唆されている。

#### 授業形態別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義	4.37	0.74	3366	4.31	0.74	3521
演習	4.20	0.87	1791	4.23	0.81	1896
実技実験実習	4.53	0.62	746	4.52	0.64	777
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

#### 授業規模別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小 (10～19)	4.49	0.69	527	4.45	0.71	540
中 (20～39)	4.39	0.73	4021	4.36	0.71	4204
大 (40～79)	4.26	0.80	1145	4.20	0.81	1207
特大 (80～)	3.49	1.07	210	3.72	0.95	243
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

## 学年別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1年生	4.34	0.78	3412	4.29	0.76	3602
2年生	4.34	0.77	2482	4.34	0.76	2583
3年生以上	4.38	0.62	9	4.61	0.49	9
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

## 教員区分別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
専任	4.33	0.79	4205	4.31	0.78	4430
非常勤	4.36	0.73	1698	4.32	0.71	1764
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

授業形態では、学生数に大きな差はあるが「講義」「演習」と比較して、「実技・実験・実習」の学修達成の評価が高い。実体験を通じた学びが学生の専門知識や技術が身についたとの評価に繋がることが窺える。

授業規模別では、小規模および中規模の授業における学修達成の評価が高く、数は少ないが特大規模の授業では低い傾向が見られる。学生一人ひとりへの関わりや双方向的な授業展開が授業評価に繋がっていることが推察される。

また、学年別では大きな差は見られず、教員区分別においても専任・非常勤間で顕著な差は見られなかった。いずれも高い水準の授業運営と学修達成が確保されていることが確認できる。

### 〈I-2 学生の熱心さ〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	2.42	1.29	29	2.27	1.16	30
2. あまりそう思わない	3.27	1.09	77	3.03	1.03	85
3. どちらともいえない	3.42	0.83	501	3.33	0.75	544
4. ややそう思う	4.09	0.65	2057	4.05	0.60	2172
5. そう思う	4.69	0.56	3228	4.70	0.52	3351
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

### 〈I-4 学生が感じる授業の難易度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. 簡単すぎた	3.35	1.39	31	3.27	1.48	32
2. やや簡単だった	4.23	0.83	104	4.30	0.80	108
3. 適切だった	4.46	0.71	2745	4.47	0.68	2860
4. やや難しかった	4.27	0.72	2356	4.23	0.69	2484
5. 難しすぎた	4.15	1.01	662	4.06	1.02	703
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

### 〈I-5 学生のシラバス活用度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	3.70	1.31	253	3.65	1.25	269
2. あまりそう思わない	3.99	0.92	255	3.89	0.89	264
3. どちらともいえない	3.90	0.82	1352	3.87	0.78	1426
4. ややそう思う	4.26	0.58	1921	4.22	0.56	2020
5. そう思う	4.82	0.44	2118	4.82	0.43	2208
全体	4.34	0.77	5903	4.31	0.76	6194

学生の「熱心さ」が高いほど、「授業運営」「学修達成」の評価も高くなる傾向が見られる。また、「授業難易度」については、「適切」と感じている学生の評価が最も高く、難易度設定の重要性が窺える。

さらに、シラバスを積極的に活用している学生ほど、「授業運営」「学修達成」の評価が高く、シラバスの活用が学修成果に寄与していることが確認できる。

## 授業評価アンケート結果（ピアノ科目）

### ◆経年比較

	2024年度前期		2024年度後期		2025年度前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
<b>I. 授業への学生の取り組み</b>						
I-1. この授業への出席(参加)状況	4.16	1.05	3.91	1.15	4.13	1.09
I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.57	0.87	4.34	1.08	4.64	0.64
I-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	2.08	1.17	2.02	1.19	2.49	1.39
I-4. この授業の自分にとっての難易度	3.37	0.65	3.35	0.69	3.51	0.71
I-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.50	1.22	2.14	1.15	3.91	1.18
<b>II. 授業内容と授業の進め方</b>						
II-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.71	0.58	4.66	0.61	4.48	0.95
II-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.74	0.59	4.68	0.64	4.60	0.86
II-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.68	0.62	4.61	0.68	4.52	0.88
II-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.72	0.56	4.66	0.64	4.58	0.83
II-5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.74	0.54	4.68	0.60	4.58	0.84
II-6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.74	0.55	4.66	0.62	4.58	0.82
II-7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	4.71	0.61	4.67	0.60	4.58	0.82
II-8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.76	0.51	4.69	0.58	4.64	0.71
(該当者のみ回答) II-9. 対面授業では適切な教育設備(空調など)が整っていた。	4.63	0.73	4.64	0.66	4.54	0.78
(該当者のみ回答) II-10. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.62	0.74	4.45	0.96	-	-
<b>III. 授業を通して得られたこと</b>						
III-1. ピアノ技能が身についた。	4.73	0.51	4.65	0.55	4.61	0.69
III-2. 楽曲の理解力が高まった。	4.70	0.57	4.58	0.63	4.60	0.68
III-3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	4.63	0.62	4.50	0.70	4.58	0.68
III-4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	4.58	0.69	4.48	0.71	4.51	0.75
III-5. 表現する力が高まった。	4.64	0.63	4.53	0.68	4.51	0.78
III-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.52	0.72	4.37	0.79	4.39	0.85
III-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.73	0.52	4.61	0.59	4.61	0.75
III-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.72	0.55	4.65	0.59	4.54	0.79

ピアノ科目においても、各項目の平均値は総じて高い水準を維持している。特に「授業への学生の主体的な取り組み」や「授業内容と授業の進め方」に関する評価は安定しており、教員による

丁寧な指導が継続されていることが窺える。「Ⅰ-⑤この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した」については、一般科目と同様に2024年度後期より大幅に平均値が高くなっている。これは、前回のアンケートより質問文が変更されていることもあり(具体的な活用方法を記載)、学生のシラバス活用のポイントが明確になったことが要因として考えられる。

非常に高い平均値の水準であるが、若干の数値の減少が続いている項目があり、ご検討いただければと思う。それでも「Ⅲ-⑧全体として、この授業を受けて満足した」の評価は高く、少人数制によるきめ細やかな指導が学生の学修達成感につながっていると考えられる。

## 2025年度からの質問文・選択肢変更点

### I 授業への学生の取り組み

【変更前】4. この授業の内容は私にとって

【変更後】4. この授業の自分にとっての難易度

【変更前】5. 私はこの授業のシラバスを活用した。

- ①全く活用しなかった ②あまり活用しなかった ③どちらともいえない  
④活用した ⑤とても活用した

【変更後】5. この授業のシラバス（授業計画）を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。

- ①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④ややそう思う ⑤そう思う

### II 授業内容と授業の進め方

【変更前】5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。

【変更後】5. 教員は学生の授業参加（交流、ワーク、発表など）を促していた。

【変更前】9-1. 板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。

【変更後】9-1. 板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。

### IV 自由記述

〈リード文〉

【変更前】この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。

【変更後】この授業について、良かったところ、改善すべきところ等がありましたら、自由に入力してください。本学の授業改善の資料として活用します。なお、入力された内容は、担当教員も直接閲覧します。授業改善につながる建設的な意見を書くようにしてください。

〈記入欄〉

【変更前】※もとの質問紙ではリード文のあとすぐに4行の記入欄

【変更後】※記入欄を「授業」と「教室・設備」の2つにわけ

※1つのページで、できれば入力欄が2つとも見えるようにする。

1. この授業のよかったところ、継続してほしいところ、改善・提案できるところがあれば記入してください。

自由記述： 記入欄

2. 教室や設備について要望があれば記入してください。

教室名：（ ）教室 （例：525教室，G11教室など）

自由記述： 記入欄

以上

# 教学改善のための授業評価アンケート

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

＜学籍番号＞（二重枠線内に学籍番号（数字7桁）を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。）

①	①	①	①	①	①	①	←0
②	②	②	②	②	②	②	←1
	③	③	③	③	③	③	←2
	④	④	④	④	④	④	←3
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	←4
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	←5
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	←6
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	←7
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	←8
							←9

【記入上の注意】

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

＜良い例＞ ●      ＜悪い例＞ ○   ●   ●   ●   ●

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜    限

大学	① 経営学部    ② 芸術学部    ③ 教育学部    ④ 国際観光学部    ⑤ データサイエンス学部    ⑥ 看護学部
大学院	⑦ 教育学研究科
短大	⑧ 生活デザイン学科    ⑨ 調理・製菓学科 調理コース    ⑩ 調理・製菓学科 製菓コース    ⑪ 調理・製菓学科 フードコーディネートコース ⑫ 栄養学科    ⑬ 幼児教育学科    ⑭ 観光学科    ⑮ グローバルコミュニケーション学科    ⑯ 経営会計学科
学年	① 1年生    ② 2年生    ③ 3年生    ④ 4年生    ⑤ 5年生以上
性別	① 男性    ② 女性    ③ その他（または答えたくない）    ④ 学生区分    ⑤ 一般学生    ⑥ 留学生

## I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席（参加）状況	① 4回以上欠席（4回以上不参加）    ② 3回欠席（3回不参加）    ③ 2回欠席（2回不参加） ④ 1回欠席（1回不参加）    ⑤ 全回出席（全回参加）
2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない    ② あまりそう思わない    ③ どちらともいえない ④ ややそう思う    ⑤ そう思う
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満    ② 1～2時間未満    ③ 2～3時間未満 ④ 3～4時間未満    ⑤ 4時間以上
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた    ② やや簡単だった    ③ 適切だった ④ やや難しかった    ⑤ 難しすぎた
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった    ② あまり活用しなかった    ③ どちらともいえない ④ 活用した    ⑤ とても活用した

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

## II-① 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

II-① 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）を適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

II-② 教育環境

1. （該当者のみ回答） 対面授業では適切なICT環境（Wi-Fi、PCなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
2. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教室環境（空調、プロジェクター、机の配置など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

III 授業を通して得られたこと

	そ う 思 わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

-----

-----

-----

# 教学改善のための授業評価アンケート (ピアノ科目)

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

<学籍番号> (二重枠線内に学籍番号(数字7桁)を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。)

①	①	①	①	①	①	①	←0
②	②	②	②	②	②	②	←1
	③	③	③	③	③	③	←2
	④	④	④	④	④	④	←3
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	←4
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	←5
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	←6
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	←7
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	←8
							←9

[記入上の注意]

① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。

② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。

③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

◀良い例▶ ●      ◀悪い例▶ ○   ●   ●   ●   ●

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜    限

大学	① 経営学部	② 芸術学部	③ 教育学部	④ 国際観光学部	⑤ データサイエンス学部	⑥ 看護学部
大学院	⑦ 教育学研究科					
短大	⑧ 生活デザイン学科	⑨ 調理・製菓学科 調理コース	⑩ 調理・製菓学科 製菓コース	⑪ 調理・製菓学科 フードコーディネートコース	⑫ 栄養学科	⑬ 幼児教育学科
	⑭ 観光学科	⑮ グローバルコミュニケーション学科	⑯ 経営会計学科			

## I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席(参加)状況	① 4回以上欠席(4回以上不参加)	② 3回欠席(3回不参加)	③ 2回欠席(2回不参加)
	④ 1回欠席(1回不参加)	⑤ 全回出席(全回参加)	
2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間(授業時間を除く)	① 1時間未満	② 1~2時間未満	③ 2~3時間未満
	④ 3~4時間未満	⑤ 4時間以上	
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった	② あまり活用しなかった	③ どちらともいえない
	④ 活用した	⑤ とても活用した	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

## II 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

~裏面も回答してください~

## II 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
10. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）を適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

## III 授業を通して得られたこと

	そ う 思 わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）
